

1. 平成30年度活動の方向性

- 「NEW TOHOKU PITCH」の活動を継続することで、復興庁の設置期限を超えても、セクター間の連携により新しい東北をつくっていくつながりを残す契機とする。
- セクター間の連携については、情報・認識の共有を土台に、共通のテーマを解決・達成できるようなソリューションとなるような場づくりを目指し、その可能性をメッセージとして発信する。
- テーマについては復興に留まらず、広く地域の課題をテーマに捉え、各セクターが関われる余地があると望ましい。例として、地元企業の人材確保、移動支援・まちづくり、事業承継、企業誘致など。

2. 今年度のスケジュール

● 第1回（6／7（木））

- ・意見交換会の趣旨等説明
- ・平成29年度活動振り返り
- ・平成30年度方向性
- ・平成30年度テーマ案等について意見交換を実施

● 第2回（9／12（水））

- ・今年度の方向性
- ・宮城県におけるFw:東北Weekly特別編の内容等について意見交換を実施

● イベント準備期間（9～1月）

- ・Fw:東北Weekly特別編開催準備期間

● Fw:東北Weekly特別編「南三陸をつなげる30人」開催（2／5（火））

● 第3回（3／18（月））

- ・「南三陸をつなげる30人」の実施振り返り
- ・来年度意見交換会等について意見交換を実施

3. 「南三陸をつなげる30人」

～個々の活動の可視化による町のブランド化と担い手育成～（2/5）の実施概要

社会課題と地域のマトリクスでセクター間の連携を可視化し、表現できるような状況を生み出すことをめざし、南三陸の地元事業者を集め、フューチャーセッションを開催。

●場所：南三陸町役場エントランス「マチドマ」（協力：南三陸町）

●参加者（計31名）

[震災後、レジリエントな地域づくりの活動に取り組んできた地元企業家・活動家] 17名

[上記の企業家・活動家のテーマを支援できる可能性のある大手企業] 8名

[南三陸町職員] 2名

[意見交換会委員（ワーク参加）] 4名



4. 「南三陸をつなげる30人」の総括

○第2回意見交換会以降の経緯の確認

前年度の「New TOHOKU Pitch」開催を受け、今年度もセクターを超えた課題や取り組みの共有ができる交流機会の創出を継続することとし、沿岸部での開催を検討。南三陸町の協力を得て、同地での企画実施となった。地域の人々がより確実につながるために、フューチャーセッションの手法を用いたワークを採用した。

○当初の想定だったピッチイベントと異なる形式の場となったことで以下の点が見えた。

- ・地域のキーパーソンがセクターや分野を超えて集まり、密度の濃い対話の場を創出できた。
- ・フューチャーセッションの形式をとることで、参加者の対話から未来志向で問いを共創し、ビジョンの共有を試みることができた。
- ・ピッチイベントでは、実施地域での特定の課題をテーマとして、セクター間で相互支援のつながりを具体的に議論する場を想定していたが、今回は個別のアイデアが分散する形となった。

○アンケートからは、地元の人々の多様性やつながりの実感できたことを評価する声があったほか、フューチャーセッションのその先を進めていくことへの関心を挙げる声が複数あった。

○地元協力者からは次のような声が寄せられた。

地元協力者の声（抜粋）

○開催により得られたこと

- ・「南三陸をつなげる30人」については、よくまとまっていて、ぜひ参加者含め広く公開をしたいと思う。
- ・これをきっかけに、外の人が町に参画をしやすくなると良い。これまで様々な取り組みを町内でもしてきているが、こうした見せ方は自分たちにはできなかったことでもある。

○今後の動きについて

- ・町では、アイデアはたくさん生まれてくるが、人材のリソースが足りず、形にして引っ張ろうとする人、プレイヤーが少ないという課題がある。また、参加していない企業や人がどう感じるか、不安もある。
- ・参加者からは概ね満足の声が挙げられたが、今後どうするかについても期待と冷静に見ている感もあり、次のアクションを進めていきたい。

アンケート結果（抜粋）

○お住まい

宮城県	19	79.2%
埼玉県	2	8.3%
千葉県	1	4.2%
東京都	1	4.2%
京都府	1	4.2%

○全体の感想

1.大変満足	7	29.2%
2.満足	15	62.5%
3.普通	0	0.0%
4.不満	0	0.0%
5.大変不満	0	0.0%

○プログラムの感想

1.大変満足	3	12.5%
2.満足	18	75.0%
3.普通	2	8.3%
4.不満	0	0.0%
5.大変不満	0	0.0%

○参加者の声（自由記述より抜粋）

- ・震災以前の町のコト、人も知る機会となった。
- ・南三陸町の先進的な活動をしている人達と出会えた。
- ・南三陸町の戦略が可視化できました。
- ・後半パートで決めた事を具体的に取り組みにつなげていきたい。
- ・企業参加もあり、新しいアイデア・つながりができて良かった。

5. 検討事項

- イベントの振り返りおよび今年度の成果
- 今年度開催地域（南三陸）でのその後のアクションについて
- 次年度以降の活動テーマについて